

知的障害者と刑事裁判

～ 人権を守る ～

講師：NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン

オンブズマン 大石 剛一郎 弁護士

報道などでご存知の方もおられるかと思いますが、重度の知的障害者が強盗事件の犯人として起訴され、もしも真犯人が現れていなければ、有罪判決を受け、長い懲役刑に服するところだった、という冤罪事件が起きました。

知的な障害や、コミュニケーションをとりにくいなどの問題を持つ人は、捜査機関が適切にその障害に配慮せず、あるいは犯人と決め付けて取り調べをしてしまったら、自己弁護することなどまったくできないまま、捜査機関の考えるままの罪を犯したものとされ、刑を科せられてしまいます。

また、今、凶悪事件がつぎつぎと起き、連日のように大々的に報道される裏側で、社会不安から、理由もなく知的障害のある人を「不審者」という目で見める風潮が起きつつあるのではないのでしょうか。

“だれもが地域の中で共に生きる社会を目指す”湘南ふくしネットワークオンブズマンは、「知的障害者の刑事事件」を通し、皆様とともにあらためて「人権」について考えてみたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2005年8月20日(土)午後2時～4時

場所：茅ヶ崎市役所分庁舎 コミュニティホール

(茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1)

参加費：500円

対象：どなたでもご参加いただけます

受付：当日会場にて

主催：特定非営利活動法人(NPO法人)
湘南ふくしネットワークオンブズマン

